



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

静岡新聞社の記者が新聞の仕組みなどを紹介する「編集局出前講座」が9日、浜松市中央区の市立佐鳴台小で開かれた。4年生113人が、新聞の読み方や記事を書くポイントを学んだ。

新聞作りをテーマにした国語の授業の一環で、3クラスに分けて行われた。

それぞれ、浜松総局の山下奈津美記者が講師を務め、内容を簡潔に表現する見出しの役割や、重要な要素を先に書く「逆三角形」の文章構成について、説いた。「読者に伝えたいことを明確に」と呼び掛けた。

児童らは、同校の行事を紹介した新聞記事を題材に、見出し付け

新聞記事の書き方紹介 中区佐鳴台小 本紙記者が出前講座

金原希さんは「新聞記事を、最後まで読むのはとても大変。見出しで内容がわかるなら読みやすい」と話していた。



新聞記事の書き方などを学ぶ児童ら
＝浜松市中央区の市立佐鳴台小

- ① 記事から読み取って説明しましょう。

見出しの役割

「逆三角形」の文章構成

2012年7月10日朝刊 西部版

- ② 山下記者が呼び掛けたことばを書きましょう。

- ③ 学校行事を紹介する文章を書き、見出しをつけてみましょう。

年 組 名前

(小学校中学年 国語)